

みずほCustomer Desk Report 2017/12/06号(As of 2017/12/05)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.47
TKY 9:00AM	112.50	1.1868	133.53	GBP/USD	1.3470
SYD-NY High	112.87	1.1876	133.74	AUD/USD	0.7654
SYD-NY Low	112.38	1.1801	133.01		1.3370
NY 5:00 PM	112.57	1.1826	133.13		1.3442
NY DOW	24,180.64	▲109.41	日本2年債	-0.1400	1.00bp
NASDAQ	6,762.21	▲13.15	日本10年債	0.0400	0.00bp
S&P	2,629.57	▲9.87	米国2年債	1.8204	1.21bp
日経平均	22,622.38	▲84.78	米国5年債	2.1437	0.17bp
TOPIX	1,790.97	4.10	米国10年債	2.3518	▲1.96bp
ソコ日経先物	22,485	0	独10年債	0.3155	▲2.55bp
ロンドンFT	7,327.50	▲11.47	英10年債	1.2550	▲2.90bp
DAX	13,048.54	▲10.01	豪10年債	2.5675	1.85bp
ハンセン指数	28,842.80	▲295.48	USDJPY 1M Vol	7.88	▲0.26%
上海総合	3,303.68	▲5.94	USDJPY 3M Vol	8.29	▲0.15%
NY金	1,264.90	▲12.80	USDJPY 6M Vol	8.76	▲0.06%
WTI	57.62	0.15	USDJPY 1M 25RR	-0.63	Yen Call Over
CRB指数	187.47	▲1.22	EURJPY 3M Vol	7.98	0.10%
ドルインデックス	93.29	0.10	EURJPY 6M Vol	8.61	▲0.12%

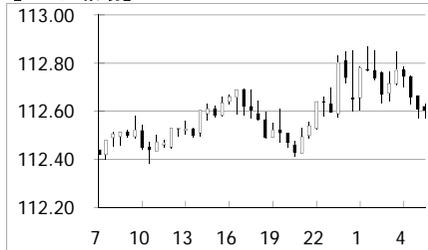
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月5日	9:30	豪 小売売上高(前月比)	10月 0.5%	0.3%
	9:30	豪 経常収支	3Q -A\$9.1B	-A\$9.0B
	10:45	中 Caixinサービス業PMI/総合PMI	11月 51.9/51.6	-/-
	12:30	豪 RBAキャッシュレート	- 1.50%	1.50%
	17:55	独 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	11月 54.3/57.3	54.9/57.6
	18:00	欧 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	11月 56.2/57.5	56.2/57.5
	18:30	英 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	11月 53.8/54.9	55.0/55.8
	22:30	米 貿易収支	10月 -\$48.7B	-\$47.5B
	23:45	米 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	11月 54.5/54.5	-/55.2
12月6日	0:00	米 ISM非製造業景況指数	11月 57.4	59.0

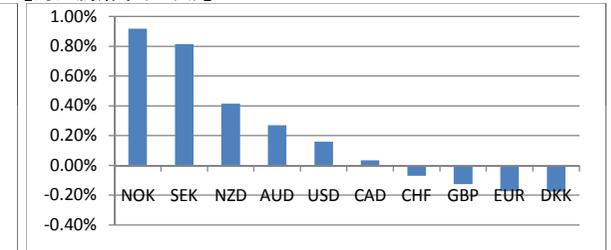
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月6日	9:30	豪 GDP(前期比/前年比)	3Q 0.7%/3.0%	0.8%/1.8%
	21:00	米 MBA住宅ローン申請件数	-	-3.1%
	22:15	米 ADP雇用統計	11月 190K	235K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.10-112.90	1.1800-1.1900	133.00-134.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル円相場は方向感の出ない展開。米国の税制法案が年内に成立するとの期待感から112.87まで上昇するも、その後発表された米国の10月貿易収支において市場予想以上に赤字幅が拡大したことや、11月ISM製造業景況指数も予想以上に低下したことから、米金利が低下する動きとともに、ドル円も112円台半ばまで下落し東京時間に戻ってきている。米税制改革への期待感が残しながらも、週末には米雇用統計が控えており、また12月利上げはほぼ織り込まれている状況を鑑みると、特段の材料がない中でドル円は方向感の出ずらい展開が続くであろう。

東京	東京時間のドル円は112.50レベルでオープン。ゴトー日特有の実需フローが散見される中でドル円はオープン直後に小幅上昇するも、前日比マフィス圏で寄り付いた日経平均株価が下げ幅を更に拡大する動きに連れられる格好となり、112.38まで反落。その後、日経平均株価が下げ止まり午後にかけて反発したことや、米金利も小幅に上昇したことも相俟ってドル円はじりじり値を戻す展開。参院財政金融委員会では、黒田日銀総裁の「2%の物価安定目標にはなお距離があり、引き続き強力な金融緩和を粘り強く進めていく」との発言が伝わった。ドル円は同ハトラインに反応してか小幅に上昇し、引けにかけて112.66まで上昇し、結局112.64レベルで海外市場に渡った。なお、豪準備銀行政策決定会では予想通り政策金利が据え置きとなり、日総裁からは豪経済について楽観的な見方が示された。朝方発表された豪10月小売売上高が市場予想を上回る良好な内容となったこともあり、豪ドルは0.75台後半から0.76台半ばまで上昇する展開となり約3週間ぶりの高値をつけた。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は112.64レベルでオープン。独連立協議を巡る不透明感から独11月サービス業PMI(改定値)が3か月ぶり水準に低下し、英11月サービス業PMIも53.8に悪化したことが意識されてか、112.41までリスク回避的に売られた。その後、米金利が上昇に転じるとドル円も反転し、112.64レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3458レベルでオープン。アイルランド国境の扱いを巡り、メイ英首相と保守党に閣外協力する親英・EU離脱派のDUPの間で意見の相違があり、離脱交渉の合意が週内仕切り直しとなったことを背景に、欧州勢参入後にポンド売りが再加速。1.3370まで下げた後はポジション調整的にやや買い戻された。また、一時ロンドン・シティのセントポール大聖堂が不審物発見により閉鎖され、緊張感が高まる場面も見られたが、結局ゼロとの関連性がなかったことに落ち着き、市場の反応も限定的となった。1.3416レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルーパー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	海外市場で比較的狭いレンジでの推移が続いたドル円は112.64でNYオープン。朝方は米金利が上昇する展開にドル円もじり高で推移し、112.84を付ける。米11月ISM非製造業景況指数は新規受注や雇用などが前回から低下したこともあり、実績57.4と予想59.0を下回ったことを受けてドル円は112.60まで下押しするが、その後再ドル買いが優勢となり、112.87まで上昇。しかし、新規材料に欠ける中で112.64まで反落し、その後はライアン下院議長が短期歳出法案について過半数の支持が得られる見通しを示したが、この法案が適用される期間についての発言は無かったことからドル円の反応は限定的となった。その後、112.85まで戻す局面があったものの、小幅安で推移していた株式市場が下げ幅を拡大させる展開に、ドル円は112.53まで反落し112.57レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1847レベルでNYオープン。朝方はドル買いが優勢となったことから1.1813まで下落する。その後は米ISM非製造業景況指数を受けたドル売りに1.1843まで戻すものの、ユーロ円が下落する展開にユーロドルも連れ安となり、1.1801まで下落。午後は米金利低下を受けたドル売りにユーロドルは1.1829まで小幅に値を戻し、1.1826レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 福田・西谷